

2021 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	趙 星銀 (ちょ・さんうん)
演習テーマ	「ナショナリズム」について考える
内容と卒業論文の指導方針	前期はナショナリズムを中心に政治学の基礎概念を広く取り上げ卒業論文のテーマ設定を指導する。後期は参加者のテーマに関連する文献を会読しながら論文執筆における具体的なアドバイジングを行う。参加者はテーマ設定から論文提出にいたるまで各ステップの進捗状況を定期的に共有し、プレゼンテーションとディスカッションを通してお互いの論文執筆をサポートする。
メール・アドレス	scho@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	月曜 2 限 (2020-2021 年度は Teams または Zoom にて行う。メールで予約すること。)
授業概要	<p>近年、世界各国の政治における「ナショナリズムの高揚」がしばしば指摘されている。しかし、そもそもナショナリズムとは何か。そしてナショナリズムを構成している「ネイション」や「ナショナルティ」は具体的に何を意味するのか。</p> <p>この問いに対して正確な知識に基づいて論理的な答えを出すことは、そう簡単ではない。エスニシティ、民族、国民、人種、国家など、ナショナリズムを論じるために用いられる概念は実に多様であり、またそれらが複雑に絡み合っているからである。結果的に、みんなが興味を持っているテーマであるにもかかわらず、ナショナリズムについて筋の通った理解を持つことはなかなか難しい。</p> <p>この演習では「政治思想」としてのナショナリズムと「歴史」のなかのナショナリズムを区分しながら、リーディングとディスカッションを通して両方に関する理解を深めたい。授業で学んだ知識を踏まえてナショナリズムをめぐる様々な概念を整理し、一つ一つの概念を自分の言葉で説明することが、この演習におけるもっとも重要なポイントである。</p>
学習目標	<p>1) 理解する力 言葉が頭を素通りしていかないように、文献を丁寧に読む訓練をする。テキストから得た知識を自分のものにする。</p> <p>2) 説明する力 プレゼンテーションやディスカッションを通して、自分の考えを他の人にわかりやすく説明できるコミュニケーション力を身につける。</p> <p>3) 批判する力 正確な知識に基づいてナショナリズムをめぐる言説を批判的に考察する。</p>
授業計画	<p>春学期</p> <p>第 1 回 ガインダンス</p> <p>第 2~4 回 エスニシティ・民族・国民</p> <p>第 5~6 回 「国民国家」形成の歴史</p> <p>第 7~9 回 世界大戦とナショナリズム</p>

	<p>第 10～11 回 冷戦後の世界 第 12～14 回 ナショナリズムと多文化主義 第 15 回 まとめ</p> <p>秋学期 第 1 回 ガイダンス 第 2～4 回 文献会読・ディスカッション 第 5 回 卒論中間報告 (1) 第 6～8 回 文献会読・ディスカッション 第 9 回 卒論中間報告 (2) 第 10～12 回 文献会読・ディスカッション 第 13～14 回 卒論最終報告 第 15 回 まとめ</p>
予習	テキストを読み、コメントペーパー (1000-2000 字程度) を提出する。
復習	各自の興味や疑問について参考文献を参照しながら整理しておく。次回提出するコメントペーパーに前回の振り返りを記す。
授業に関する注意事項	参加者は全員、1 回以上のプレゼンテーションを担当する。授業は参加者の報告とディスカッションを中心に行われる。
教科書	塩川伸明『民族とネイション ナショナリズムという難問』岩波新書、2008 年 水島治郎『ポピュリズムとは何か――民主主義の敵か、改革の希望か』中公新書、2016 年
参考書	授業中に紹介する。
成績評価の基準	プレゼンテーション 40% 課題提出と授業への参加度 60%
関連 URL	https://youtu.be/J-3YG1D00oM 授業のガイダンス動画
備考	